

4. 活動報告

4.1 八都県市首都直下地震対策研究協議会

首都直下地震による被害軽減を目的として、八都県市の行政職員と首都直下地震防災・減災プロジェクトの研究担当者が「協働」で、地域の防災力の向上を図るための研究会として「八都県市首都直下地震対策研究協議会」を設立した。

4.1.1 第1回八都県市首都直下地震対策研究協議会

4.1.1.1 開催日時：平成19年12月21日（金）14:00～17:00

4.1.1.2 開催場所：キャンパスイノベーションセンター 多目的室2

4.1.1.3 議事次第・発表者

①文部科学省研究開発局地震・防災研究課防災科学技術推進室 渡邊 淳

「あいさつ」

②京都大学防災研究所 林 春男

「八都県市首都直下地震対策研究協議会」についての趣旨説明

③京都大学防災研究所 林 春男

「首都直下地震防災・減災プロジェクト及び「広域的危機管理・減災体制研究」の紹介

④富士常葉大学 重川希志依

「効果的な災害対応業務の実施の必要性」

⑤その他

4.1.2 第2回八都県市首都直下地震対策研究協議会

4.1.2.1 開催日時：平成20年1月18日（金）14:00～17:00

4.1.2.2 開催場所：キャンパスイノベーションセンター 多目的室3

4.1.2.3 議事次第・発表者

①東京大学生産技術研究所 目黒公郎

「広域的情報共有と応援体制の確立」

②山梨大学大学院医学工学総合研究部 鈴木猛康

「危機管理対応情報共有技術による減災対策」

③首都大学東京 中林一樹

「首都直下地震からの東京復興と課題」

④その他

4.1.3 第3回八都県市首都直下地震対策研究協議会

4.1.3.1 開催日時：平成20年2月15日（金）14:00～17:00

4.1.3.2 開催場所：キャンパスイノベーションセンター 多目的室1

4.1.3.3 議事次第・発表者

①千葉大学大学院工学研究科 山崎文雄

「相互に関連したライフラインの復旧最適化に関する研究」

②京都大学防災研究所 林 春男

「社会的防災・減災教育システムの確立

平成 20 年度(1)効果的な行政対応態勢の確立

iii)効果的な研修・訓練システムの確立」

③その他

4.1.4 第 4 回八都県市首都直下地震対策研究協議会

4.1.4.1 開催日時：平成 20 年 3 月 21 日（金）14:00～17:00

4.1.4.2 開催場所：キャンパスイノベーションセンター 多目的室 2

4.1.4.3 議事次第・発表者

①富士常葉大学大学院環境防災研究科 田中聡

「建物被害認定自己診断システムの提案」

②早稲田大学高等研究所 小玉乃理子

「広域連携システムの概念と実際」

③その他

4.2 全体ワークショップ

4.2.1 第1回ワークショップ（以下のプログラムのとおり）

首都直下地震防災・減災特別プロジェクト
「③広域的危機管理・減災体制の構築に関する研究」
キックオフ・ワークショップの開催について

日時：2007年7月30日 12:30集合・13:00開始

7月31日 17:30解散

場所：晴海グランドホテル（〒東京都中央区晴海3-8-1 TEL03-3533-7111）

●1日目午後

0. 「本研究会の全体構成について」

1. はじめに

「プロジェクトの始動にあたって」奥野智久（文部科学省地震・防災研究課）

「プロジェクトに期待すること」本藏義守（東京工業大学 理事・副学長）

2. 「研究のフレームと推進方針について」林 春男（京都大学防災研究所 教授）

3. 「首都直下地震対策について」

河田 恵昭（京都大学防災研究所巨大災害研究センター長・教授）

（中央防災会議「首都直下地震対策専門調査会」委員）

中林 一樹（首都大学東京大学院都市環境科学研究科 教授）

（中央防災会議「首都直下地震避難対策等専門調査会」座長）

4. グループ討議「首都圏直下地震に関わる**好ましくない結果**の構造化と**中核問題**の同定」

●2日目 午前＋午後

5. 全体討議「グループ討議の結果を統合し、首都圏直下地震に関わる**好ましくない結果**の全体像を把握し、**中核問題**を構造化する」

6. 研究テーマ別討議「**中核対立図***にまとめることで、減災に向けての核心的な問題の所在を明らかにする」

7. 総括

「テーマ別総括と今後の取り組み」

各テーマ代表

「全体総括と今後の取り組み」

京大防災研 林 春男

4.2.2 第2回ワークショップ（以下のプログラムのとおり）

第2回全体ワークショップ プログラム

【1日目 3月13日（木）】

- 11:00 JR 総武線平井駅前集合
- 11:00-14:30 下町あるき
- 14:30-15:30 虎ノ門パストラルへ移動（会場：虎ノ門パストラル本館 8F けやき）
- 15:30-16:00 まち歩きのみりかえり
- 16:00-17:00 中林先生による解説
- 17:00-17:30 解説を受けてのみりかえり
- 17:30-19:00 夕食（自由）
- 19:00-21:00 New Orleans Report by Tulane University Team

【2日目 3月14日（金）】

- 9:30 集合
- 9:30-10:00 オリエンテーション
- 10:00-12:00 グループ作業
- 12:00-13:30 昼食（自由）
- 13:30-15:30 グループ作業
- 15:30-16:00 休憩（自由）
- 16:00-17:30 みりかえり

首都直下地震防災・減災プロジェクト 『下町まち歩き』のご案内

080306

1. 日 時 平成 20 年 3 月 13 日（木）午前 11 時から午後 2 時半
2. 集合場所 **午前 11 時 総武線平井駅北口（各駅停車しか止まりません。）**
昼食を済ませてからご参集下さい。

当日(3月13日午前10時以降)の出欠変更・遅刻の連絡は、首都大学東京 市古まで、
事前(3月13日午前0時まで)の出欠変更の連絡は、首都大学東京 小田切にお願いします。

3. 目 的 東京下町の地勢・街並み・災害環境を体感する。

4. 概 要

荒川右岸平井駅を出発点とし、下町を2時間半、ひたすら歩きます。平らな土地、産業と住まいの混在、建て替えられるべきところは建て替わり、市街地の基盤状況や経済的条件で建て替えられずに残されている木造住宅の街並みを実感してください。まち歩き後、京島地区キラキラ橋商店街に立地する第2集会所で、(財)墨田まちづくり公社まちづくり課長から、下町市街地の成り立ちのお話を伺います。

また、平井駅から四つ木に向かうコースの資料も用意しますので、ご希望の方は各自でそちらへお回り下さい。

おおよその時刻	場所	見所	移動手段
11:00	総武線平井駅北口に、各自昼食を済ませてから集合	東京駅から山手線秋葉原経由で20分程度です。	まち歩き資料配付 行程の説明など
11:10 出発	平井駅周辺	海拔ゼロメートル地帯の街	原則は、徒歩で移動10人程度のグループに分かれて、それぞれ自由なルートで曳舟文化センターへ。 希望により、個別行動も自由。 バスやタクシーでの移動も自由。 時間に余裕があれば、軽食をとることもできます。 ご希望の方はスーパー堤防から直接、四つ木に向かってください。
	荒川河川敷	広域避難場所河川敷	
	平井7丁目スーパー堤防	一般市街地との高度差、3階建ての街並み	
	東墨田・旧中川	産業と一体の街 緩傾斜堤防	
	京島2・3丁目	戦災に焼け残った長屋が残る街並み	
	四つ木	河川、鉄道、幹線道路で囲まれた長方形地区の中の密集市街地ラビリンス	
13:30 13:20には ご参集下さい	京島第2集会所 (通称：キラキラ会館) 墨田区京島3-52-8	(財)墨田まちづくり公社まちづくり課中島課長による下町の成り立ちのミニ講演会	平井駅からスーパー堤防を経由してキラキラ会館まで、寄り道しなければ、徒歩2時間かかりません。
14:30	京成曳舟駅 出発	15:30に虎ノ門パストラルに到着するためには、遅くても京成曳舟駅14:49発にご乗車ください。	時間に余裕があれば、いったん四つ木方向に向かい、荒川を渡る鉄橋から白髭東防災拠点の長大な壁を遠望することができます。
15:30	虎ノ門パストラル本館8F けやき		電車 京成曳舟－東銀座－神谷町(30分強)



5. 「まち歩き」にあたってのお願い

- ・ **歩き慣れた靴** でおいでください。
- ・ <宿泊でおいでの皆様> 荷物はあらかじめ虎ノ門パストラルホテルに宅急便で送るか、途中駅コインロッカー等をご利用のうえ、**身軽にして**ご参加ください。平井駅には戻りませんのでご注意ください。
- ・ グループ別の移動には、第4サブグループメンバーがペースメーカー役について歩きます。見所等の解説は、当日配布する「しおり」をご覧ください。
- ・ 四つ木に向かうコースには、ペースメーカー役はつきません。
- ・ 写真撮影等のためグループからはぐれても、13時20分には京島第2集会所にご参集下さい。
- ・ まち歩き資料として、「しおり」、1/1万地図、「京島路地コミマップ」などを用意する予定です。

6. 翌日のワークショップ準備のために

各グループ参加者の方に、ルート記録担当（1/1万地形図にルートを記入して下さい）、写真担当（参加者が撮影した写真データを京島第2集会所、または虎ノ門パストラル到着後集めて下さい）をお願いする可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

「まち歩き」企画・幹事は、首都大学東京チームが務めます。
代表 首都大学東京 都市環境科学研究科 教授 中林一樹

4.3 サブリーダー会議

(研究代表者と個別研究テーマ代表者で構成)

研究代表者：林 春男

個別研究テーマ代表者：重川希志依・目黒公郎・山崎文雄・中林一樹

4.3.1 第1回サブリーダー会議

4.3.1.1 開催日時：平成19年11月10日(土) 13:00-13:50

4.3.1.2 開催場所：静岡県防災センター2F 会議室

4.3.1.3 議事次第

- ①8都県市地震対策協議会の設置
- ②月例研究会の開催
- ③3月のワークショップの開催
- ④JDR 特集号の刊行(2008年12月)
- ⑤来年度予算
- ⑥その他

4.3.2 第2回サブリーダー会議

4.3.2.1 開催日時：平成19年11月28日(水) 15:20～15:40

4.3.2.2 開催場所：台北シェラトンホテル B2F 会議室

4.3.2.3 議事次第

- ①8都県市地震対策協議会の設置に関する経過報告
- ②3月のワークショップの開催
- ③その他

4.4 対外発表

4.4.1 成果の論文発表・口頭発表等

発表成果、掲載論文	発表者氏名	発表場所	発表時期	国内・外の別
Evaluation on Role of the local government network For disaster response(A case study of recent earthquake disasters)、口頭発表	Kishie Shigekawa, Satoshi Tanaka, Masasuke Takashima	2nd International Conference on Urban Disaster Reduction	2007.11	国外
Analysis of the Building Damage Evaluation Processes in Japan: A Case Study from the Recent Earthquake Disasters、口頭発表	Satoshi Tanaka, Kishie Shigekawa, Masasuke Takashima	2nd International Conference on Urban Disaster Reduction	2007.11	国外
Design of Customer-oriented Recovery Assistance for Households -Practice of Anamizu Town in Noto Peninsula Earthquake Disaster、口頭発表	Masasuke TAKASHIMA, Satoshi TANAKA, Kishie SHIGEKAWA	2nd International Conference on Urban Disaster Reduction	2007.11	国外
Evaluation on Role of the local government network For disaster response(A	Kishie Shigekawa, Satoshi Tanaka,	Proceedings of 2nd International Conference on Urban	2007.11	国外

発表成果、掲載論文	発表者氏名	発表場所	発表時期	国内・外の別
case study of recent earthquake disasters)	Masasuke Takashima	Disaster Reduction (CD-ROM)		
Analysis of the Building Damage Evaluation Processes in Japan: A Case Study from the Recent Earthquake Disasters	Satoshi Tanaka, Kishie Shigekawa, Masasuke Takashima	Proceedings of 2nd International Conference on Urban Disaster Reduction (CD-ROM)	2007.11	国外
Design of Customer-oriented Recovery Assistance for Households -Practice of Anamizu Town in Noto Peninsula Earthquake Disaster-	Masasuke TAKASHIMA, Satoshi TANAKA, Kishie SHIGEKAWA	Proceedings of 2nd International Conference on Urban Disaster Reduction (CD-ROM)	2007.11	国外
Customer Relation Management System for Household Recovery Assistance	Masasuke TAKASHIMA, Satoshi TANAKA, Kishie SHIGEKAWA	World Conference on Earthquake Engineering (印刷中)	2008	国外
効率的な災害対応業務の実施に向けて	重川希志依	都道府県展望	2008.3, No.594	国内
特集～災害に強いまちづくり～, 災害時における情報共有と自治体の役割	重川希志依	自治体法務研究	2008.春, No.12	国内
被災自治体の生活再建支援業務への「くらしの再建カルテ」の導入	高島正典, 田中聡, 重川希志依	第1回防災計画研究発表会アブストラクト集	2007	国内
被災者の生活再建過程を観る	高島正典	ワークショップ災害を観る・6 (印刷中)	2008	国内
プローブカー情報の共有による減災効果の検討(口頭発表)	小玉乃理子 秦康範 鈴木猛康 目黒公郎	日本地震工学会大会2007	2007年11月	国内
Study on Road Information Sharing Using Probe Vehicle in Disasters (ポスター発表)	N. Kodama Y. Hada T. Suzuki I. Suetomi K. Meguro	2nd International Conference on Urban Disaster Reduction	2007年11月	国外
プローブカー情報の共有による災害時の道路情報収集と旅行時間短縮の数値シミュレーション	小玉乃理子 秦康範 鈴木猛康 目黒公郎	災害情報 No.6	2008年3月	国内
災害時の道路情報提供の試み 新潟県中越沖地震における取組みと今後の展開(口頭)	鈴木猛康, 秦康範, 下羅弘樹	日本災害情報学会 第9回学会大会, pp.187-190	2007. 11	国内
プローブカー情報の減災利用の取り組み - 新潟県中越沖地震における通れた道路マップの提供- (口頭)	秦康範, 鈴木猛康, 菅原愛子, 野川忠文, 今井武, 目黒公郎, 小玉乃理子	第6回ITSシンポジウム, pp.399-404	2007.12	国内
柏崎刈羽原子力発電所内における屋外タンク貯蔵所等の地震被害調査	山田 實・西 晴樹・座間信作・吉原 浩・笠原孝一・藤原正人	消防研究所報告, 104, pp. 9-16	2008. 3	国内
「減災情報共有データベースによる災害医療情報システム連携の有用性について」(口頭)	岡本健, 松島俊介, 寺井親則, 野田五十樹	第35回日本救急医学会総会・学術集会	2007年10月	国内
「減災情報共有プロトコルおよびデータベースによる災害情報システム統合」(口頭)	下羅弘樹, 横田裕思, 松井宏樹, 野田五十樹	日本地震工学会第5回年次大会	2007年11月	国内
「災害時情報共有のためのプロトコルおよびその実装」(口頭)	下羅 弘樹, 横田裕思, 松井 宏樹, 野田 五十樹, 目黒 淳一, 羽田	「社会におけるAI」合同研究会 (SIG・SAI),	2007年11月	国内

発表成果、掲載論文	発表者氏名	発表場所	発表時期	国内・外の別
	靖史, 柴山 明寛			
「シミュレーションによる災害時道路交通の障害予見と救助計画立案支援システムの構築」(口頭)	松井宏樹, 野田五十樹	日本地震工学会第5回年次大会	2007年11月	国内
視き窓、並べたら大画面 ーどこでも簡単に使える大画面システム (口頭)	上田 真史	情報処理学会第49回プログラミング・シンポジウム	2008年1月	国内
Experiments of Earthquake Early Warning to Expressway Drivers using Plural Driving Simulator (口頭発表)	山崎 文雄	2nd International Conference on Urban Disaster Reduction, Taipei, Taiwan	2007年11月	国外
新潟県中越地震における高速道路盛土の被害率と地震動強さの関係 (口頭発表)	丸山 喜久	土構造物の地震時における性能設計と変形量予測に関するシンポジウム発表論文集、地盤工学会	2007年7月	国内
2005年福岡県西方沖地震における福岡市中央区舞鶴での地表面地震動の推定(口頭発表)	丸山 喜久	第29回土木学会地震工学研究発表会報告集、九州大学	2007年8月	国内
Modeling Impact Lifeline Disruption on the Industrial Sector in Earthquake Disaster (口頭発表)	Nojima, N.	Ninth Canadian Conf. on Earthq. Eng., Ottawa, Ontario, Canada	June 2007	国外
脆弱性指数を用いた上水道管路の地震時脆弱性評価(口頭発表)	安藤騰志	土木学会中部支部平成19年度研究発表会、金沢大学	2008年3月7日	国内
脆弱性評価のためのガス導管敷設状況に関する考察(口頭発表)	能島暢呂	土木学会中部支部平成19年度研究発表会、金沢大学	2008年3月7日	国内
地震時におけるライフラインシステムの停止・寸断によるシステム影響度	黒住展堯、庄司学	日本地震工学会大会ー2007梗概集	2007.11	国内
既存建物間熱融通による地域冷暖房の新しい展開(口頭発表)	佐土原聡	日本建築学会大会(学術講演梗概集 D-1, p.877-878)	平成19年8月	国内
停電が生活行動に与える影響調査 長崎市における2006年台風13号災害を対象として(口頭発表)	稲垣景子, 吉田聡, 佐土原聡	日本建築学会大会(学術講演梗概集 D-1, p.841-842)	平成19年8月	国内
分散型エネルギーシステムの面的利用による街区のサステナビリティ向上に関する研究(その1) 街区計画/建築計画の方策に関わる枠組み(口頭発表)	工月良太, 村上周三, 佐土原聡, ほか3名	日本建築学会大会(学術講演梗概集 D-1, p.889-890)	平成19年8月	国内
分散型エネルギーシステムの面的利用による街区のサステナビリティ向上に関する研究(その2) 導入のための評価モデル(口頭発表)	長谷川巖, 村上周三, 佐土原聡, ほか3名	日本建築学会大会(学術講演梗概集 D-1, p.891-892)	平成19年8月	国内
分散型エネルギーシステムの面的利用による街区のサステナビリティ向上に関する研究(その4) 事例研究2: 都心区における導入ポテンシャル(口頭発表)	元アンナ, 佐土原聡, 村上周三, ほか4名	日本建築学会大会(学術講演梗概集 D-1, p.895-896)	平成19年8月	国内
横浜市金沢区でのエネルギーの地産地消に関する研究(口頭発表)	釜賀将博, 吉田聡, 佐土原聡	日本建築学会大会(学術講演梗概集 D-1, p.919-920)	平成19年8月	国内
Establishing Relationship between Disasters and	Satoru Sadohara	2nd International Conference on Urban	平成19年11月	国外

発表成果、掲載論文	発表者氏名	発表場所	発表時期	国内・外の別
Global Environmental Problems for Sustainable Communities (口頭発表)		Disaster Reduction (CD, 6 pages)		
講演「エネルギー、水の面から見るDCPの意味」(口頭発表)	佐土原聡	DCP (District Continuity Plan) シンポジウム, 主催: (財) 都市防災研究所 東京都DCP構想モデル地区検討委員会	平成20年3月	国内
「地球環境」と「防災」の体系的整理と統合化の試み	佐土原聡	日本建築学会総合論文誌第6号 地球環境と防災のフロンティア, p.5-8	平成20年	国内
「エネルギーの面的利用」と地域冷暖房の新しい展開	佐土原聡	省エネルギー, Vol.59, No.9, p.18-22	平成19年	国内
災害に備える大都市のエネルギーシステムのあり方	佐土原聡	セイフティエンジニアリング, No.147, p.13-17	平成19年	国内
地震災害に備える大都市のエネルギーシステム	佐土原聡	都市計画, Vol.56, No.3, p.9-12	平成19年	国内
地震災害に対する配水管路網の広域復旧戦略シミュレータの開発 (I), 口頭発表	永田茂, 山本欣弥, 景山耕平	日本水道協会第58回全国水道研究発表会, 釧路市,	平成19年5月23日~25日	国内
地震災害に対する配水管路網の広域復旧戦略シミュレータの開発 (II), 口頭発表	山本欣弥, 永田茂, 景山耕平	日本水道協会第58回全国水道研究発表会, 釧路市,	平成19年5月23日~25日	国内
上水道システムの地震災害に対する広域復旧戦略シミュレータの開発 (その1), 口頭発表	永田茂, 山本欣弥, 景山耕平	土木学会 第62回年次学術講演会概要集, 広島大学	平成19年9月12日~14日	国内
上水道システムの地震災害に対する広域復旧戦略シミュレータの開発 (その2), 口頭発表	山本欣弥, 永田茂, 景山耕平	土木学会 第62回年次学術講演会概要集, 広島大学	平成19年9月12日~14日	国内
首都直下地震からの事前復興対策に関する計画論的研究 ~震災復興まちづくり復興模擬訓練手法の開発~ ポスター発表	中林一樹, 市古太郎, 饗庭伸	産学共同シーズイノベーション化事業 JST Innovation Bridge 首都大学東京 研究シーズ発表会2007	平成19年10月17日(水)	国内
Earthquake Vulnerability Assessment and Anti-Earthquake Disaster City Planning in Tokyo 口頭発表	Itsuki Nakabayashi	Proceedings of the International Symposium on Sustainable Urban Environment 2007	November9-10, 2007	国内
Preparedness for Recovery and Reconstruction from The Next Tokyo Earthquake 口頭発表	Itsuki Nakabayashi	2nd International Conference on Urban Disaster Reduction Proceedings	November 27-29,2007	国外
A preparing measure for long term building environment recovery in Tokyo -A report of urban planning staff training in Tokyo municipalities 口頭発表	Taro ICHIKO, Shin AIBA, Takao SATO and Itsuki NAKABAYASHI	2nd International Conference on Urban Disaster Reduction Proceedings	November 27-29,2007	国外
Community-training program for community based urban reconstruction-Through four years of	Shin Aiba,Taro Ichiko,Itsuki Nakabayashi, Jin Yoshikawa	2nd International Conference on Urban Disaster Reduction Proceedings	November 27-29,2007	国外

発表成果、掲載論文	発表者氏名	発表場所	発表時期	国内・外の別
practice in Tokyo ポスター発表				
基礎自治体の計画発意能力向上に着目した都市復興図上訓練手法の改善と評価に関する研究ー2006年度東京都都市復興図上訓練を通してー	市古太郎, 饗庭伸, 佐藤隆雄, 吉川仁, 中林一樹	日本都市計画学会学術研究論文集42, pp.607-612	2007	国内
首都直下地震に備える事前復興の取り組み-東京における震災復興対策と復興訓練から-	饗庭伸, 市古太郎, 中林一樹	地学雑誌, Vol.116 No. 3/4, pp.557-575	2007	国内
米国ハリケーン・カトリーナ災害後のニューオリンズ市における都市復興計画の計画体系と策定プロセス(口頭発表)	近藤民代	日本建築学会	2007年8月	国内
米国ハリケーン・カトリーナ災害後のニューオリンズ市における復興計画の現状と今後の課題(口頭発表)	近藤民代	都市計画学会関西支部	2007年7月	国内
ハリケーン・カトリーナ災害後のニューオリンズ市復興計画の特徴(口頭発表)	近藤民代	土木学会防災計画研究発表会	2007年10月	国内
巨大都市災害後の復興計画づくりを考えるーカトリーナ災害の被災地から何を学べるかー	近藤民代	減災	2008年4月	国内
『ハリケーン・カトリーナ以降』ハリケーン・カトリーナからの復興ー住宅再建とまちの再建ー(口頭)	牧紀男	比較防災学ワークショップ	2008年1月26日	国内
どれだけの規模の災害に見舞われたら復興計画が策定されるのか? ー復興計画が策定される災害規模と計画内容ー	牧紀男、林春男、太田敏一	地域安全学会論文報告集No. 9	2007年11月10日	国内
短期の学習モデルを取り入れた自治体職員によるGEOINTデータベース利用型の効果的な危機対応業務の実現-2007年能登半島地震災害への輪島市の対応を事例として-	井ノ口宗成・林春男・吉富望・浦川豪・藤春兼久	地域安全学会論文集No.9	2007.11	国内
Development of Disaster Response Competency Profile Indices (口頭発表)	Shigeo Tatsuki	The 2 nd International Conference on Urban Disaster Reduction, Taipei	2007年11月28日	国外
Development of Disaster Response Competency Profile Indices	Shigeo Tatsuki	Proceedings of the 2 nd International Conference on Urban Disaster Reduction (CD-ROM)	2007年11月	国外
続・防災ゲームで学ぶリスク・コミュニケーション	吉川肇子・矢守克也・杉浦淳吉	ナカニシヤ出版	印刷中	国内
Which Roles are Citizens and the Community to Play in the Field of Disaster Management? (Results from the Random Sampled Social Surveys to the Disaster Victims of the 1995 Kobe Earthquake and the 2004 Niigata Earthquake Disaster)	KIMURA, R., HAYASHI, H. and TAMURA, K.	2nd International Conference on Urban Disaster Reduction Proceedings	2007.11	国外
参画型による危機対応戦略計画のためのリスク同定・評	田村圭子・林春男・牧紀男・木村	地域安全学会論文集, No.9	2007.11	国内

発表成果、掲載論文	発表者氏名	発表場所	発表時期	国内・外の別
価手法の提案	玲欧・井ノ口宗成			

4.4.2 特許出願，ソフトウェア開発，仕様・標準等の策定等

4.4.2.1 特許出願

・なし

4.4.2.2 ソフトウェア開発

名称	機能
プローブカー情報の共有が可能な車両走行シミュレータ	プローブカー情報の共有方法を変化させたときの、道路情報収集の経過と車両の旅行時間を計算する。
減災情報共有データベース (DaRuMa) ver. 20080311	EMIS との連携ツール追加。プローブカー情報連携機能追加。大容量データへの対応。
マルチマウス・大画面共有システム Tenmads	仮想大画面をネットワーク経由で共有し，マルチマウスによって協調作業をするための基盤システム
広域連携システムプロト・プロトタイプ	Tenmads を使って災害情報を共有できるシステムの原型版
復興プロセスデータベース	インターネットを利用した複数ユーザ参加型のウェブサイトを通じて、知識を収集し、データベースへ蓄積するためのシステムの構築を行った。
応答スペクトル入力による建物被害個別推定システム	地震力を応答スペクトルで入力し、建物の階高から固有周期を求め、建物の被災程度を個別評価する。
被災体験データベース（エピソード集）	過去の地震災害の被災体験を登録、検索する機能。

4.4.2.3 仕様・標準等の策定

・なし